



読み聞かせボランティアが選んだ
一度は読みたい絵本



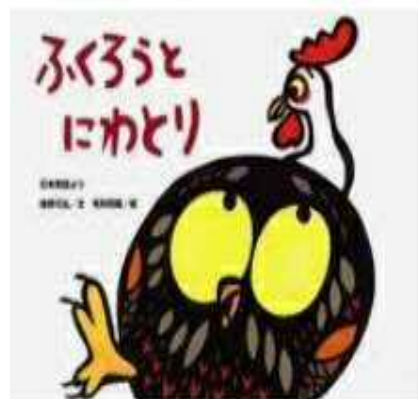
あんなに暑かった夏も終わり、秋の気配を感じる今日この頃。空を見上げ雲の流れをみていると、秋のおとずれが感じられます。家の周りで秋をみつけてみませんか？普段見過ごしがちな草花がみつかるかもしれませんよ。

◎【ふくろうとにわとり】

只野元弘/著 毛利将範/絵 鈴木出版

朝早く「コケコッコー」と鳴くにわとり。みんなに朝を知らせるようになったのは、どんなわけがあったのでしょうか？また暗闇で「ホーホー」と鳴くふくろう。どうして光が苦手になったのでしょうか？

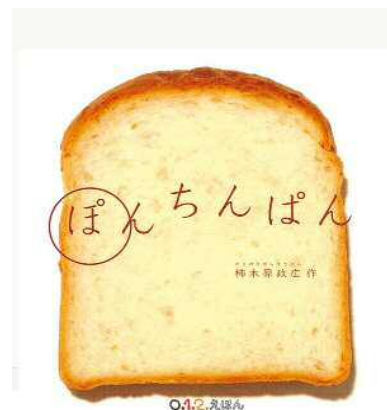
《読み聞かせボランティアあいあい》



◎【ぽんちんぱん】柿木原政広/作絵 福音館書店

「ぱんぱん〇〇ぱん ぽんちんぱん」とリズムの良いことばで、おなじみのパンが次々とでてきます。

写真絵本ですので、読み終えた後は食べたくなること間違いなし！ 《読み聞かせボランティアおおきな木》



◎【あげます】 浜田桂子/作 ポプラ社

へんなのが家にきた。みんな僕のことには知らん顔。
へんなのはあげちゃえばいい。おにいちゃんの気持ちわかりますよね。

《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、大師図書館に所蔵のある絵本です。ぜひご覧になってください。貸出中でしたらごめんなさいね。予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。